

アネスト岩田株式会社 2021年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2020年8月6日

東証1部 機械

証券コード6381

売上高、営業利益ともに減少

売上高 : 6,914百万円 (前期比△1,758百万円、△20.3%)
営業利益 : 410百万円 (同 △ 318百万円、△43.7%)

エアエナジー 事業

新型コロナウイルスの影響もあり減収、アメリカの医療向け圧縮機は堅調

売上高 : 4,042百万円 (前期比 : △1,165百万円、△22.4%)
(ご参考) * 営業利益 199百万円 (営業利益率 4.9%)

コーティング 事業

新型コロナウイルスの影響もあり減収

売上高 : 2,871百万円 (前期比 : △592百万円、△17.1%)
(ご参考) * 営業利益 210百万円 (営業利益率 7.3%)

(注) 事業別営業利益は当社グループ独自の基準により算定

2020年6月の業績予想発表値に対して、利益水準は好調に推移

売上高： 業績予想進捗率 23.0%、 営業利益： 同 82.0%

経常利益： 同 70.1%、 親会社株主純利益： 同 66.9%

*** 2021年3月期通期業績予想は、現段階において変更なし***

	2020年3月期1Q		2021年3月期1Q		前年同期比		
	実績 (百万円)	利益率 (%)	実績 (百万円)	利益率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	利益率 変化 (P)
売上高	8,672	—	6,914	—	△1,758	△20.3	—
営業利益	728	8.4	410	5.9	△318	△43.7	△2.3
経常利益	838	9.7	561	8.1	△276	△33.0	△1.9
親会社株主 帰属純利益	530	6.1	435	6.3	△95	△18.0	△1.4
平均為替レート 円/米ドル	110.20 (実績)		108.92 (実績)		1.28 円 円高		
平均為替レート 円/ユーロ	125.15 (実績)		120.11 (実績)		5.04 円 円高		
平均為替レート 円/人民元	16.33 (実績)		15.6 (実績)		0.73 円 円高		

2021年3月期 通期業績予想 (2020年6月10日発表)	
予想値 (百万円)	進捗率 (%)
30,000	23.0
500	82.0
800	70.1
650	66.9

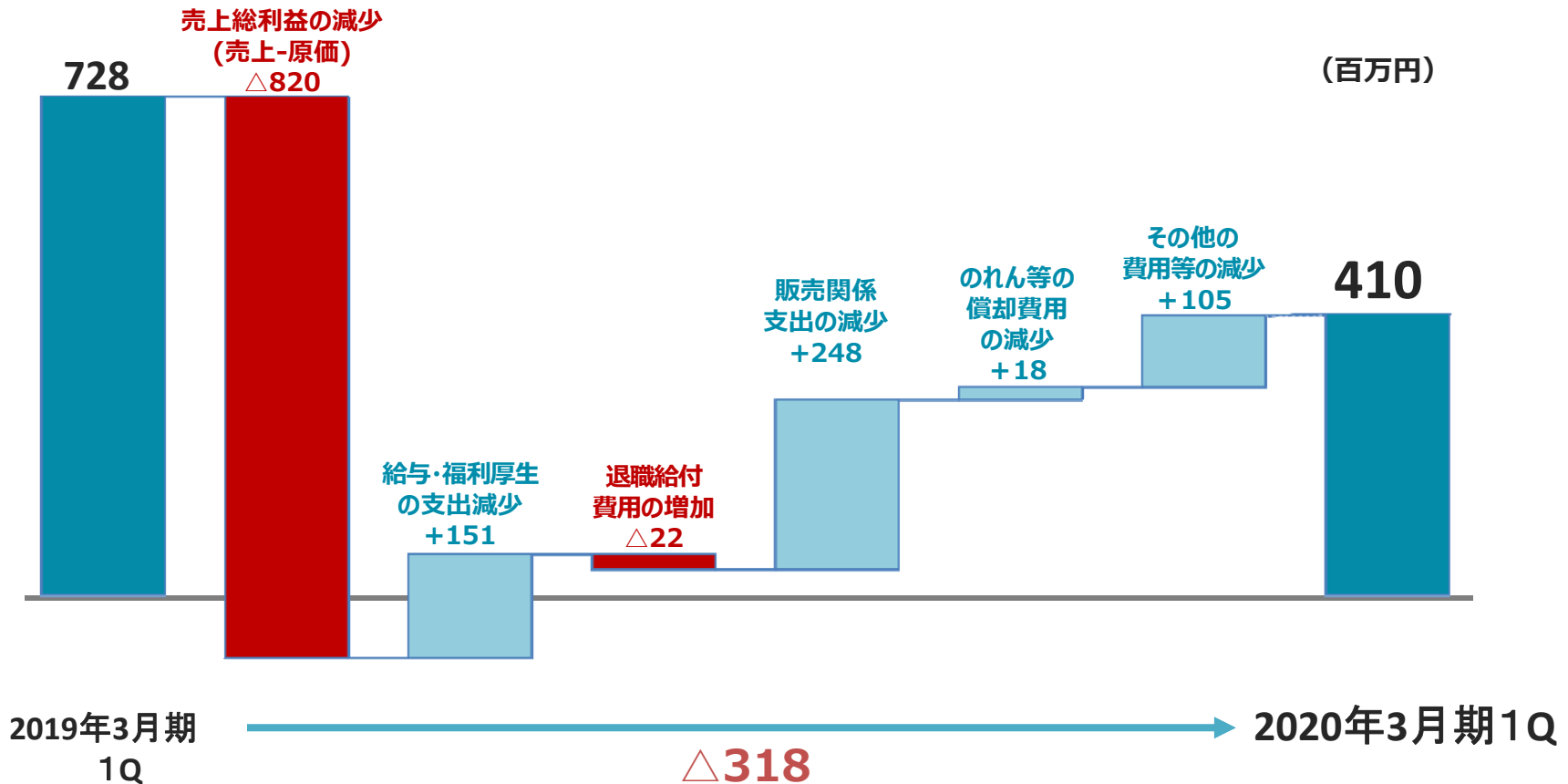
新型コロナウイルス感染症の影響もあり減収・減益

- 売上高：為替変動による影響額（-166百万円）
- 売上原価：塗装設備製品の在庫や海外販売用在庫の積み増しなどにより売上原価率が上昇
- 特別利益：行政からの休業要請に伴う雇用調整助成金収入（+76百万円）
- 特別損失：上記要請期間中の臨時休業に伴う人件費等の固定費の計上（+90百万円）

	2020年3月期 1Q		2021年3月期 1Q		前年同期比		
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	構成比率 変化 (P)
売上高	8,672	—	6,914	—	-1,758	△20.3	—
売上原価	4,700	54.2	3,762	54.4	△937	△20.0	0.2
売上総利益	3,971	45.8	3,151	45.6	△820	△20.6	△0.2
販売管理費	3,243	37.4	2,741	39.6	△501	△15.5	2.3
営業利益	728	8.4	410	5.9	△318	△43.7	△2.5
営業外収益	191	2.2	236	3.4	44	23.3	1.2
営業外費用	82	0.9	84	1.2	2	3.5	0.3
経常利益	838	9.7	561	8.1	△276	△33.0	△1.5
特別利益	2	0.0	76	1.1	73	2629.7	1.1
特別損失	25	0.3	90	1.3	65	260.7	1.0
税金等調整前純利益	815	9.4	547	7.9	△268	△32.9	△1.5
法人税等	221	2.5	114	1.7	△106	△48.0	△0.9
非支配株主帰属純利益	64	0.7	△2	0.0	△66	△103.6	△0.8
親会社株主帰属純利益	530	6.1	435	6.3	△95	△18.0	0.2

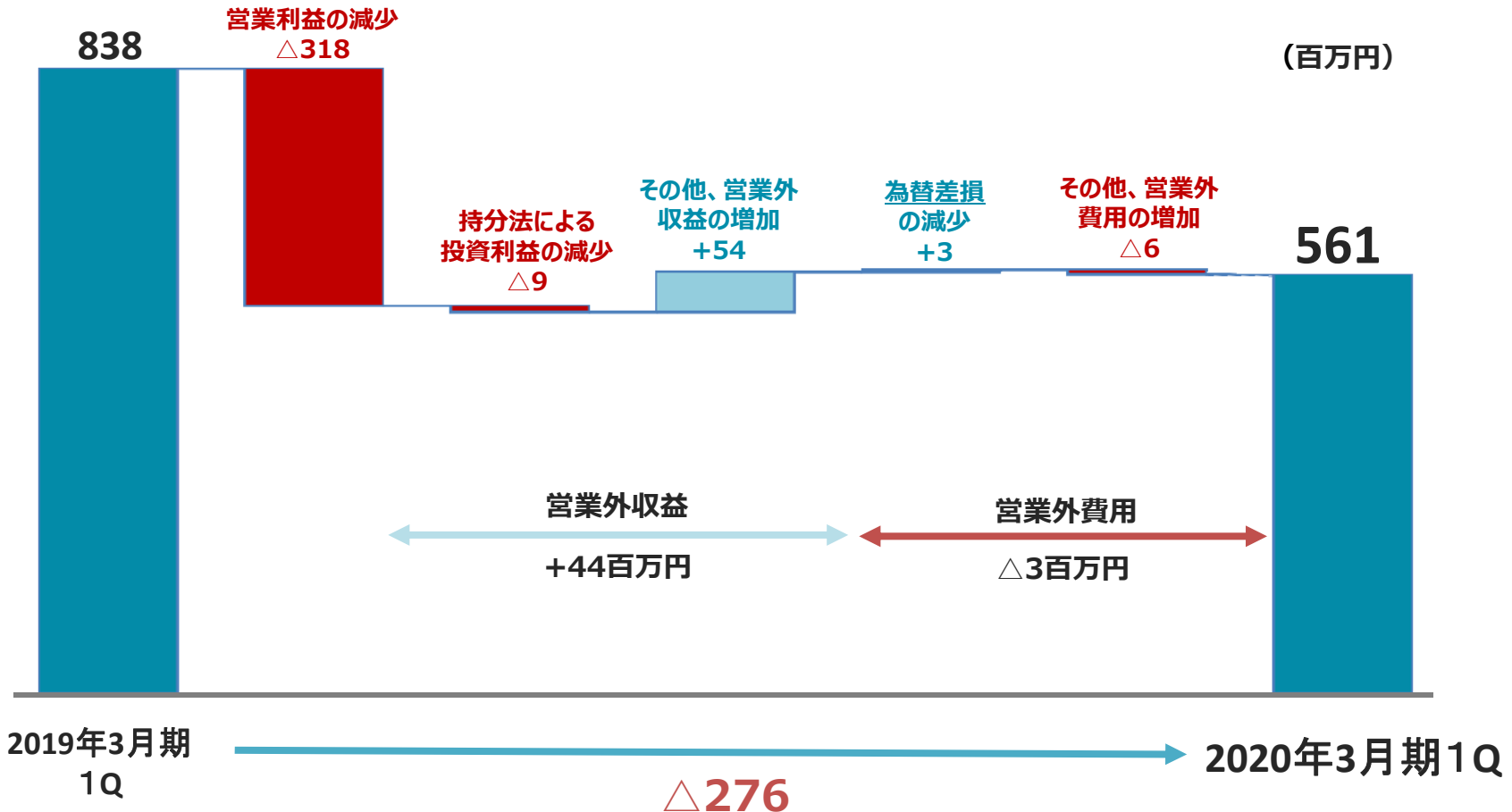
販管費の支出は減少するも減益

- 全世界での移動制限による旅費交通費の減少
- 償却費（有形及び無形固定資産）は減少
のれん（無形固定資産）の償却額：51百万円（前期比－18百万円）
- 展示会の中止などによる広告宣伝費の減少



営業外収益は改善

- 休業要請期間（月単位）以外の雇用調整助成金（31百万円）収入などによる
その他、営業外収益の増加
- 為替差損の減少



新型コロナウイルス禍の影響による経済活動の停滞から汎用機器は需要減

エアエナジー事業

- ・ 圧縮機：アメリカにおいて、病院や医療施設向け圧縮機は需要増も、汎用の小形・中形圧縮機は停滞
- ・ 真空機器：アメリカでは装置メーカー開拓などが進展し増加も、その他のエリアでは減少

コーティング事業

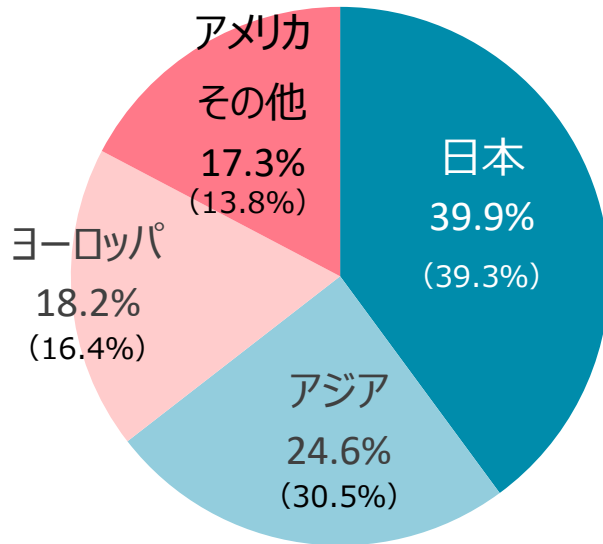
- ・ 塗装機器：欧米は好スタートを切るも、他のエリアを含め経済活動の停滞に伴い需要減
- ・ 塗装設備：新型コロナウイルス感染を踏まえ受注残の工事を進め、可能な範囲で営業活動を推進

		2020年3月期 1Q		2021年3月期 1Q		前期同期比 増減	
		売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
エアエナジー	圧縮機	4,824	55.6	3,772	54.6	△1,052	△21.8
	真空機器	383	4.4	270	3.9	△112	△29.4
	小計	5,208	60.1	4,042	58.5	△1,165	△22.4
コーティング	塗装機器	3,256	37.6	2,707	39.2	△549	△16.9
	塗装設備	207	2.4	164	2.4	△43	△20.8
	小計	3,464	39.9	2,871	41.5	△592	△17.1
合計		8,672	100.0	6,914	100.0	△1,758	△20.3

売上高の地域別構成比

2021年3月期 1Q

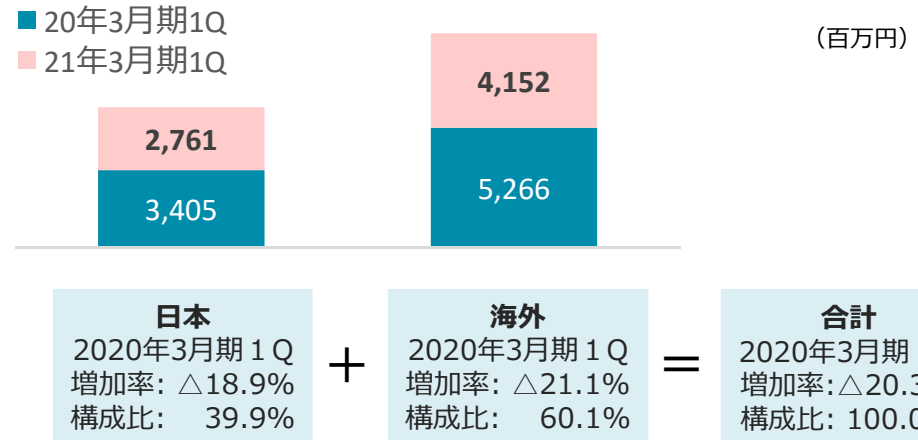
(2020年3月期 1Q)



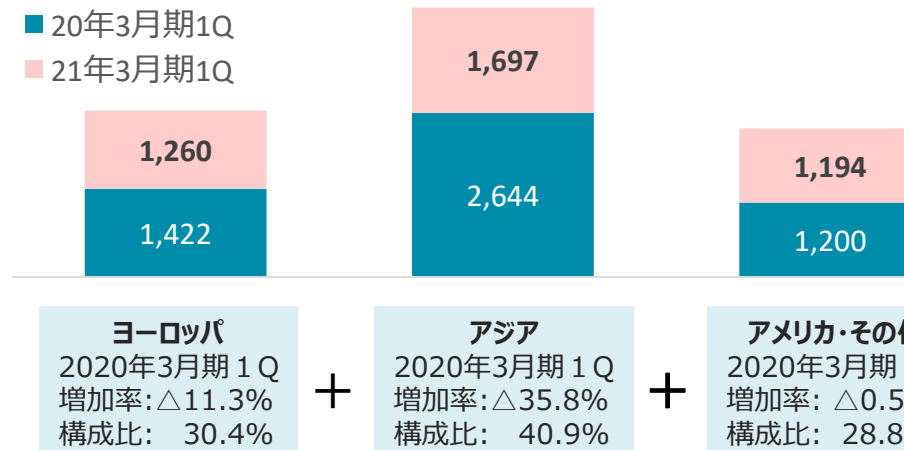
* 海外比率：60.1%（前期比△0.6P）
 * 「アメリカその他」地域は善戦するも、すべての地域で減少

(注) 納入地ベースでの実績換算

日本と海外の売上高推移



海外の売上高推移



- ・日本： 減収。新型コロナウイルス禍の影響による経済活動の停滞から、生産に必要な汎用製品は需要減。前期からスタートしたWEBを活用した営業活動を展開。

* Webセミナー（ウェビナー）
& 新商品説明会



- ・ヨーロッパ： 減収。塗装機器も後半から新型コロナウイルス禍の影響大。
- ・アジア： 減収。中国は期末から活動再開も、そのほかの国々では経済活動停滞の影響大。
- ・北米その他： 減収。アメリカにおいて、圧縮機は医療向けに需要増、真空機器は装置メーカーや大型研究施設の新規開拓が奏功。メキシコで自動車部品製造向けの塗装設備納入。

(百万円)	2020年3月期 1Q	2021年3月期 1Q	前年同期比	エアエナジー事業		コーティング事業	
				圧縮機	真空機器	塗装機器	塗装設備
日本	3,405	2,761	△18.9%	×	×	×	○
ヨーロッパ	1,422	1,260	△11.3%	×	×	●	—
アジア	2,644	1,697	△35.8%	×	×	×	×
北米その他	1,200	1,194	△0.5%	×	◎	○	◎
合計	8,672	6,914	△20.3%	×	×	×	×

◎ 10%～ △ 0%～3% ○ 3%～10%
▼ 0%～-3% ● -3%～10% × -10%

(注) 納入地ベースでの実績換算

売上高300億円（前期比△23.2%）、営業利益5億円。現状、見通しを変えず。

		2020年3月期		2021年3月期（予）	
		実績 (百万円)	構成比 (%)	目標額 (百万円)	構成比 (%)
売上高		39,091	100.0	30,000	100.0
エアエナジー	圧縮機	20,669	52.9	—	—
	真空機器	1,554	4.0	—	—
	小計	22,224	56.9	17,150	57.2
コーティング	塗装機器	12,832	32.8	—	—
	塗装設備	4,034	10.3	—	—
	小計	16,866	43.1	12,850	42.8
営業利益		3,876	9.9	500	1.7
エアエナジー		1,774	4.5	180	0.6
コーティング		2,101	5.4	320	1.1
経常利益		4,401	11.3	800	2.7
親会社帰属当期純利益		2,717	7.0	650	2.2
平均為替レート 円/米ドル		109.05	(実績)	105.00	(想定)
平均為替レート 円/ユーロ		122.07		115.00	
平均為替レート 円/人民元		15.78		15.00	

新型コロナウイルス感染拡大の影響で今期は20～30%減収を予想

売上高

日本：前期比△30%程度

アフターコロナで、下半期に回復を見込むも、
圧縮機：汎用市場向け製品割合が多い
塗装設備：下半期見通しが不透明

アジア：前期比△20%程度

中国は回復傾向だが通期では前期比減少。
インド、ASEANの回復には時間が必要。

ヨーロッパ：前期比△20%程度

2Q以降の回復には時間が必要。

北米その他：前期比△20%程度

医療向け圧縮機製品は好調に推移するもその他はヨーロッパ同様。

営業利益

上記減収を想定した生産調整実施による原価率上昇
持続的成長の観点から今中期経営計画の注力事項であるIT関連投資の継続

- ・2020年3月期：新型コロナウイルスの影響もあり、設備投資は計画の半分にとどまる。
- ・IT投資は、2021年3月期第2四半期より実施予定。研究開発は計画通り進行中。

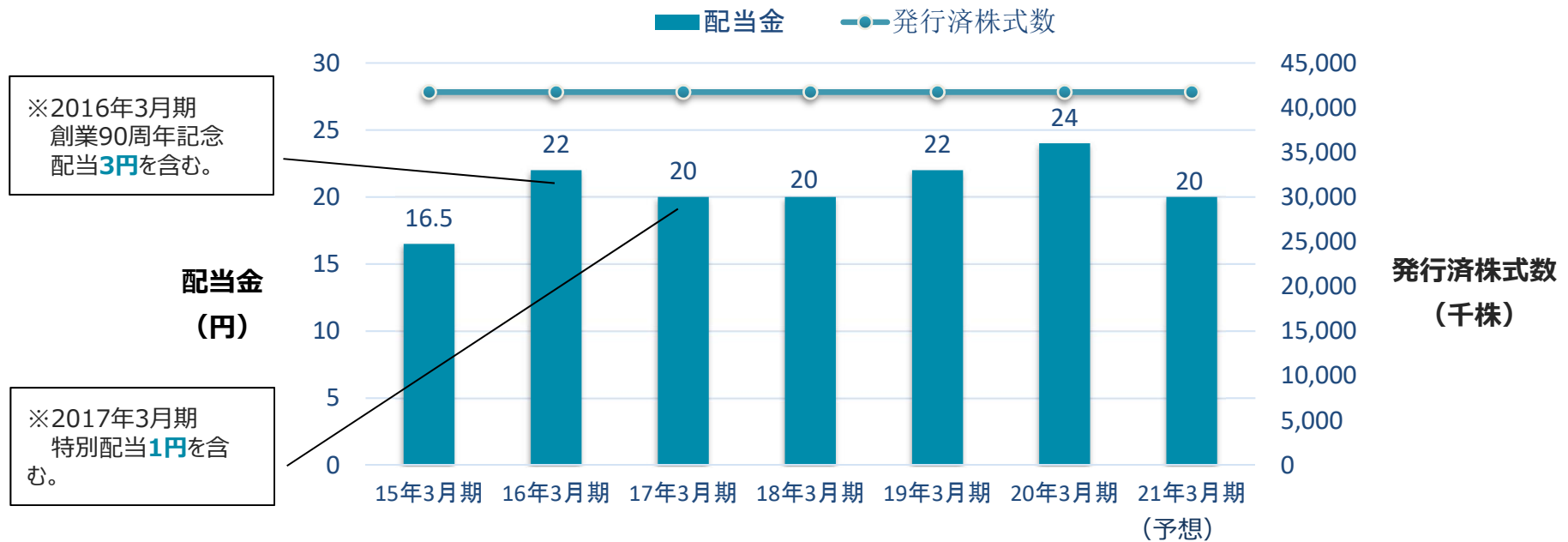
(百万円)		2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	2021年3月期 1Q実績
売上高		38,807	39,901	6,914
設備投資額	計画	2,500	2,500	2,000
	実績（計画比）	2,080（83.2%）	1,245（49.8%）	245（12.2%）
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各種工作機械、自動化設備等 ・製品開発 ・秋田、福島工場食堂リニューアル ・コミュニケーションラウンジ開設 ・本社技術開発研究施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種生産設備導入 ・製品開発 ・本社基幹システム用サーバー更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種工作機械、自動化設備等 ・製品開発 ・IT関連投資
減価償却費	計画	1,400	1,800	1,400
	実績（計画比）	1,618（115.6%）	1,509（83.8%）	345（24.6%）
研究開発費*	計画	1,200	1,200	900
	実績（計画比）	1,154（96.2%）	1,084（90.3%）	225（25.0%）

（注）研究開発費：研究開発に係る一般管理と製造経費の合計値

配当方針 安定配当の実施

配当 2021年3月期：**年20円**（中間10円 + 期末10円）予想

■ 配当金と発行済株式数(自己株式を除く)の推移



営業及び物流を含めた業務改革

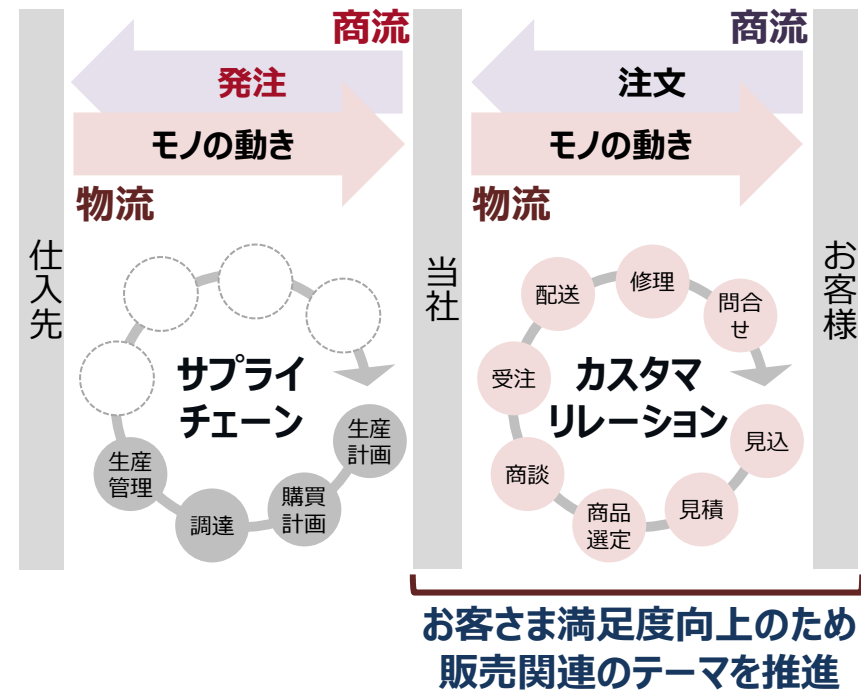
- 中期経営計画に則り、業務改革プロジェクトを立ち上げ。
お客さまとの関係性・接点強化を最優先に「販売関連のテーマ」を重点的に推進。

プロジェクト憲章

- ITツール導入を目的とせず、お客さま満足の視点で改革
- 前例にとらわれず革新的な発想を引出し、大胆に実行

創業100周年に向けて、
お客さま視点でダントツ企業となり
エクセレントメーカーの実現を目指す

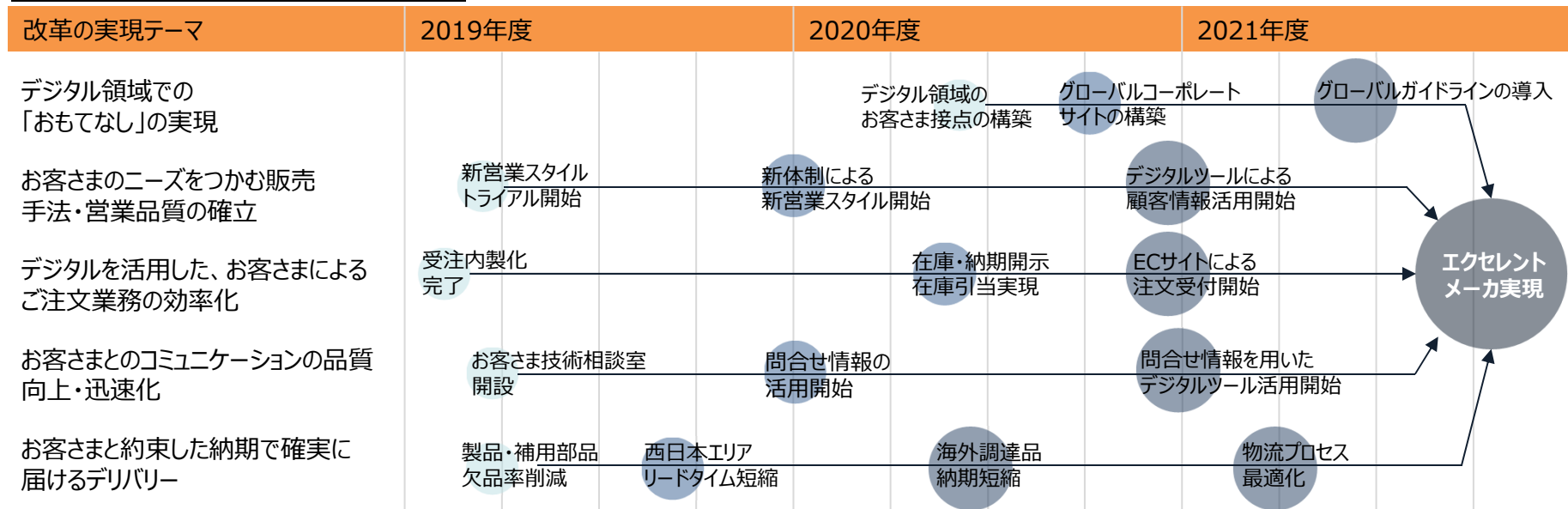
改革領域



プロジェクトの主目的

- ・ グローバルなデジタルアクセスネットワークの構築
- ・ ECサイト構築による営業スタイルのデジタル化
- ・ 補用部品サイトの機能向上
- ・ ロジスティクスの最適化

業務改革プロジェクトのロードマップ



将来見通しに関する記述、及びその他の注意事項

本資料で述べられております当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

世界経済、為替レートの変動、業界の市況、設備投資の動向など、当社業績に影響を与えるさまざまな外部要因がありますので、資料に記載の内容とは異なる可能性があることをご承知おきください。

また、資料は投資家の皆様への情報伝達を目的としており、当社の株式、その他の有価証券等の売買等を勧誘又は推奨するものではありません。